

3月4日は、看護医療類型2年の進路ガイダンスと、1、2年生の進路講演会がありました。進路ガイダンスは、大学、専門学校



からそれぞれの学部やコースの説明に来ていただきました。座談会形式のところもあり、和やかな雰囲気
で方向性や思いを確認できたと思います。また、学年
ごとに行われた進路講演会では、多くの学校で進路
に関する講演会を開かれている倉部史記さんに来て
いただき、進路の多様性やこれからの職業の在り方
について講演していただきました。例えば「現在歯科医
院は全国に68,737か所あり、コンビニ(53,182か所)より
も多くあることから、生き残りをかけて強みを持ってお
かねばならない」という具体的な話から「これからは転職
を幾度となく経験しなければならない時代になる、今ま
では普通の人生の基本形(一度就職したら退職まで
同じ等)があったが、自分の人生を自分で作る時代

になってきている」ということに結びつけ、「やりたいことはとりあえずやってみる」「目の前のことに本気で取り組むこと
で武器は増えていく、能力の掛け算で自分の強みは柔軟に掛け合わせることができる」という話をされました。
弟さんが声優を目指し、厳しい専門学校を選んだことがきっかけで、声優としての限界を感じたもののチケットを
売りさばく能力にたけていたことから営業力を買われ、さらに人を引き付けることができることからイベント企画等
を担当することができ、最終的にはプロ野球のロッテで働かれているという例を挙げ、その場所で自らの能力を
活かし、経験を活かしていくことで自分の可能性を広げて仕事に結びつけているという話で、今の社高校生に
はとても大事な話だと思いました。学年末考査後のこういった行事はとても貴重で、生徒たちの考え方を広げて
くれていると思います。ありがとうございました。

3月5日、是非ともやりたかった球技大会は雨のため中止。今年は本当に
多くの行事がなくなりました。落ち着きを取り戻しつつある中、今後の教育活
動が通常通りにでき、高校生活を生徒が楽しめるようにしていくためにも、今
できる感染防止対策は続けていきたいと思います。次回の行事を楽しみに・・・。

右の写真は3月5日神戸新聞運動面に掲載された本校の寮生の取材記
事です。6月に3回にわたり連載していただいたのですが、その後どうなったか
をまとめたいということで卒業式の前日に来られ、藤本寮長、島田副寮長、
3年生で唯一大会がなく自分たちの力を試せる機会がなかった柔道部を代
表して迫水君が取材を受けました。3人とも悔しさをにじませながらも高校生
生活を悔いなく終え、次のステージへの力強い言葉で締めくくってしており、今
後の活躍に期待を持たせてくれる内容でした。寮生たちの頑張りをこのような形で広報していただけたことに感
謝申し上げます。ありがとうございました。



また3月4日から実施されていたインターンシップ。公務員希望も含めた就職希望
者に対して例年この時期に実施しているのですが、今年はコロナ禍ということもあり、
実施が危ぶまれましたが、凸版印刷株式会社西日本事業部滝野チームの皆様
にご協力をいただきました。期間は4日・5日の2日間だけでしたが、工場内見学や
その流れについての説明などを受けながら振り返りをさせていただき、様々なパッ
ケージの製造工程を見ながら勤務されている方々の真剣さに触れることができ、「働く」
ことに関して意識を高めることができたと思います。年度末のお忙しい時期に受け入れていただいたことにこの
場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございました。



教育活動においては、8日以降部活動の練習試合も県内可能、23日以降は合宿、県外試合等も可能に
なります。少しずつ活動範囲が広がり通常通りになっていきます。できる喜びをかみしめ頑張っていきたいと思います。